

2021年夏。新型コロナが未だ収束しない中、連日35℃を超えた猛暑は、東京オリンピック2020閉会と共に去り、もう秋かなと思つたらまた暑さがぶり返してきた。窓の外ではミンミンゼミが再登場し暑さを増長させている。校長室の真上にある音楽室では吹奏楽部が懐かしい曲を練習している。(め)組の人だ。大学4年の夏、当時のシャベルズが大ヒットさせた曲を、令和の高校生が好んで演奏していることに驚いた。38年間勤めた高校教員退職の夏の終わりに、懐かしいメロディーに誘われるようには思い出が蘇る。

採取サンプルの調査・考察は、卒論発表会を経て、卒業式を過ぎても終わらず、3月31日まで取り組んだが、結局すべてを完了しないまま、先生に残りを託して農学部棟を後にした。4月1日、前日まで学生だった私は県立遊佐高校でいきなり先生と呼ばれ、その後県内の農業高校や県教育委員会に勤務しされたる成果も上げないまま今に至る。

38年間タイムスリップしたかのような夏の終わり。炎天下の圃場でサンプル採取をしながら、将来どう生きて行こうか「もがいていた」あの夏。あの頃もそうだったようだ。顔を黒く塗った

An aerial photograph of a large, modern white barn-style building with a curved roof and several small windows. The building is surrounded by lush green vineyards. In the background, there are rolling hills and a small town or cluster of houses. The overall scene is a blend of agricultural and rural beauty.

A close-up photograph of a ladybug with red and black spots resting on a green leaf. The background is blurred green foliage, creating a soft, natural feel. This image serves as the main visual for the company's environmental focus.

## 「夏の終わり⋮」



山形県立  
村山産業高等学校 勤務

故笛原健夫先生や上林美保子先生の指導のもと、水稻の「穏軸節位別粉数の変動と粉重増加パターンの品種間差異」という研究に取り組んだ。今日のように炎天下のセミが鳴く国道7号線を隔てた実験圃場で、様々な水稻品種の出穂にあわせ、毎朝サンプルを取る作業は夏休み終了まで続いた。

これと並行し、様々な就職試験が次々とやってきた。最終的に希望した教員の道に進むことが

アーチストの曲が、これから自分に「なんとかなるさ」と勇気づけてくれているようにも感じた。

鶴窓会の皆さん、こんにちは。私は、1981年3月農芸化学科卒業の岡本朋美（旧姓・阿部）と申します。

山形県朝日町で生まれた私は、大学卒業と同時に、東京で暮らし始めました。田舎者の私が大都会の中で40年、就職、結婚、出産、離婚、そして仕事と育児に追われ、目まぐるしく、あつという間でした。多忙な日々の中、40代を過ぎたころから、「いざれは山形へ帰りたい」と「いざれは山形へ帰りたい」という気持ちが湧いてきました。もちろん、東京の生活に不満や不安があった訳ではありません。永年培ってきたキャリアや信頼する友だちとのつながりは、捨てがたい。そんな二つの気持ちを抱えていた私が決心する出来事がありました。それは、11年

たがた一人で父、母を見送った後、私は、「60歳定年になつたら朝日町に帰る」という亡き母との約束を行するため、準備を始めました。それは、東京での40年間の断捨離でした。

そして、2020年7月末、東京から朝日町へ戻つてきました。大きなメタモルフォーゼですが、他にもいろいろあります。

まず、60歳で車の免許を取得したこと。ここに至るまで、いろいろありました。朝日町に帰る決心をしたのは、60歳より数年前。その時点では、私は免許を取りたが、車を持たないことに猛反対。結局、60歳で、自動車教習所に通い、車免許取得。今

A portrait of a middle-aged man with short dark hair and glasses, wearing a dark suit and white shirt, smiling at the camera.

卒業して  
38年が経ちました!」



## 「60過ぎの “モノ”」

A portrait of a woman with dark, curly hair and glasses, smiling warmly at the camera. She is wearing a black and white horizontally striped shirt. The background is a warm-toned interior space.

や、毎日、車でお出かけ。なにしろ、朝日町は、コンビニへ行くのも車！

そして、自宅前の畑で野菜作り。ほうれん草、小松菜。冬は、白菜、大根を食べ、夏は、きゅうり、なすが大豊作。友だちにお裾分けができました。東京とは、真逆の生活。田舎暮らしを満喫しています。

4月途中から、同窓の先輩方の御厚意により第二の職場をお世話していただき、自宅から近い会社に再就職できました。先輩に対する感謝の気持ちで一杯です。微力ながらこれまで培つた知識と経験を活かして、会地域の元気な姿を見つけて喜んでいます。

「大事にしなさい」と励まされ、ズヨに刺されながら寡黙に草むしりし精神修養しています。私も今まで元気でいられるかわかりませんが、一つ目は家族皆の幸せ、「二つ目は会社利益と社会貢献、三つ目は親御先祖様とふるさとへの御恩を大事にしながら、一杯精進していきたいと思つ

# 「あじさいとヒマワリ」

宮城県古川高校勤務

藤川 順志

在学中は倅の武田先生の研究室で楽しい学生時代を過ごし

ました（研究テーマは農業用抗生物質の開発）。農製研同窓会

が暮を閉じてからに備同の足を運ぶこともなくなりましたが、平成21年から続いている佐々先生を聞く会には出来る限り参加するようになります。

と信じていたのに学生課の職員から「単位が足りないので免許は出せない」と伝えられ、院に在籍しながら大学の聴講生になりました。M1の時、免許取得見込みで受けた採用試験に運良く受かつてしまつたため、中退して化学の教員になり、今に至つています。

林学科では先生方や大学関係の方々、同じ釜の飯を一緒に味わつた仲間、先輩方や後輩の皆さんにも恵まれ、楽しい日々を過ごすことができました。初めての演習林実習、北海道での研修旅行、失敗だらけの測量実習、冬のうさぎ追い、研究室での茶話会等、本当にいろんなこと

白米、炒めた魚肉ソーセージ、漬物、イワシの缶詰。毎回同じでしたが不思議と飽きず、私は大好きでした。今でも食べたくなる

# 【四年間の冒険】

藤原直哉

岡山県農林水産総合試験場  
森林研究所勤務

が、当たり前の生活に感謝する  
とともに、会いたい人と気兼ね  
なく会えますように、行きたい  
ところに行きたい人と行けます。  
ようなど、収束することを祈る  
ばかりです。生まれ育った山形、  
学生時代を過ごした鶴岡に思い  
が募る今日この頃です。

が、当たり前の生活に感謝する  
とともに、会いたい人と気兼ね  
なく会えますように、行きたい  
ところに行きたい人と行けます。  
ようなど、収束することを祈る  
ばかりです。生まれ育った山形、  
学生時代を過ごした鶴岡に思い  
が募る今日この頃です。

A color portrait of a middle-aged man with short dark hair, wearing a light beige button-down shirt over a white t-shirt. He is standing in front of a scenic view featuring a bridge spanning a body of water, with green hills and mountains visible under a clear sky.

A portrait of a man with short dark hair, wearing a light-colored button-down shirt. He is standing in front of a scenic view featuring a bridge over water and mountains under a clear sky.

の少な目に活動しかねる「才」  
学受験の時、ふと思い出したのがきつかけで林学科に入学しました。

大学での4年間はあつという間でしたが、私にとっては本当に充実した学生生活でした。山登り、サイクリング、テニス、合唱、アルバイトetc。忙しすぎて「からだが3つ欲しい。」と思つたぐらいです。

就職時には想像もしていなかったキャリアを歩んだ先輩方は大勢いると思いますが、私の場合は大勢いると思いましたが、私の場合もそうでした。日本化学会から化学教育有功賞を頂いたとき、化学の教員として最後まで頑張るつもりでしたが人事異動で特別支援学校の教頭、校長を命ぜられ、転職したつもりで勉強しました。次の異動先である蔵王高校に通級指導の導入を決断できたのはこの経験があつたからです。「人間関係形成力」を正規の授業として教育課程に設定しました。

個性を大切にして欲しいと考えているので校長講話では「アジナイのように一

A portrait of Kiyoko Kubo, a woman with short hair, wearing a dark baseball cap and a light blue scarf. She is looking towards the right of the frame.

という花を咲かせるためにひきわりのよう<sup>ムカシ</sup>に一致団結しよう<sup>ムカシ</sup>とOB丸出しの鼓舞もします。

# 自然との調和を図る優れた技術!

**業務内容**

道路・橋梁・各種構造物調査設計／農業土木調査設計／農業集落排水／測量調査・地質解析／上下水道調査設計／河川・砂防調査設計／港湾・漁港・海岸調査設計／都市開発計画／環境アセスメント／施工管理／構造物維持管理(橋梁定量的診断ほか)

**株式会社 帝国設計事務所**

認証 ISO 9001

代表取締役会長  
菅原 義昭  
(昭和40年 農工卒・技術士)

代表取締役社長  
足立 一郎  
(昭和58年 農工卒)

〒065-0025 札幌市東区北25条東12丁目1番12号 帝国ビル  
TEL 011-753-4768 FAX 011-753-0488 URL <http://www.kk-teikoku.jp>



株式会社  
**長南牛丼店**  
明治四十年創業

SNSで情報発信しています！

 Facebook    Instagram



**【主な取扱い商品】**

- ・山形牛・米沢牛・国産牛・輸入牛・庄内産豚(桜美豚)・輸入ポーク・国産鶏
- ・銘柄鶏・輸入鶏・ラム類等・自社ハム類・メーカー哈ム類・贈答用みそ漬
- ・粕漬・オードブル・折詰・弁当・イベント・催事用機器食材

---

**鶴岡の老舗 肉の長南**

山形県鶴岡市日吉町9-27

TEL 0235-22-0143 FAX 0235-23-2424

長南 雄太(6代目) (平成28年安全農産物生産学コース卒業)